

朝日森運輸

バーコード入出庫システム導入

朝日森運輸は作業品質の向上を目指し、業務のシステム化に取り組んでいる。保税上屋／梱包業務を手掛ける成田東部物流センター（成田市多良貝、以下、成田東センター）では、2年ほど前からバーコードを利用した入出庫管理システムを導入。システムを通じた見える化やミスの削減を進めている。

成田東センターは2014年の開設。敷地面積は2万4500平方メートル、床面積は1万2300平方メートル（危険物専用庫を除く）。搬入車両が倉庫内部まで進入でき、天候の影響を全く受けられない取り降ろし作業が可能だ。冷凍・冷蔵庫や空調室を完備する高機能物流施設で、危険物倉庫も設置しており、荷捌きから、加工などの付加価値業務、クールチェーンから危険物の取り扱いまで、ワンストップで物流業務を提供している。

作業品質・正確性の向上を目的に導入した入出庫管理システムでは、送り状や納品書の情報を元に、バーコードを発行。同

バーコードを利用し、貨物を照合・確認できる体制とした。同社の竹蓋雅幸社長は「外装に貨物情報の無い貨物もあり、それらの確認には時間を要し、ごくわずかだがミスが発生する可能性もあった。システム導入により、確認作業時間は減少し、システム導入部分でのミスは発生していない」と効果を強調する。

段階的にシステム増強を進めており、現在は進捗管理機能の構築・向上に取り組む第2フェーズに入っている。進捗管理をシステムに取り入れ、各工程を可視化。作業現場にモニターを置き、作業員が貨物のステータスを確認できるようにした。また、カット時間が近付いた貨物は、色が変化して警告するなどの機能も取り入れている。

次のフェーズとしては、顧客企業などとのシステム同期も検討。進捗状況を顧客と共有し、見える化をさらに拡張したいとの意向。また、修正指示などへの柔軟な対応が図れる体制構築も進めたいとしている。



朝日森運輸の成田東部物流センター

竹蓋社長はシステム導入について「人員削減を目的としたものではない」と話す。あくまで正確さや品質を向上させることが優先だとい

う。ただし、今後、追加で人手が必要な案件について「効率的に業務が行えるようにしていきたい」との方針だ。

人手不足への対応としては、2年ほど前からベトナム人の外国人技能実習生の受け入れを開始した。段階的に採用しており、実習生の数は30人ほどとなっている。実習生が勤務する拠点には通訳も配置し、コミュニ

ケーションが円滑に行える体制を整えるとともに、マニュアルなども用意し、品質の維持・向上を図っている。

同社はまた、今年4月12日付で、AEO制度の特定保税承認者（AEO倉庫業者）の承認を受けた。コンプライアンス、セキュリティを重視した総合物流事業者として今後も高品質なサービスを提供していく。





**成田南部物流センターに
半導体製造装置専用のフルトレーラーを導入しました!!**

- セキュリティ、防塵、温度管理、災害対策など最先端の設備が充実した施設です
- オーダーメイドによる温度管理梱包もお任せください
- 貨物検査・梱包・輸送など、一貫作業承ります

朝日森運輸株式会社 〒287-0242 千葉県成田市多良貝245-113

【成田空港周辺施設案内】
 成田東部物流センター TEL: 0476-73-8080 FAX: 0476-73-8081
 (梱包・保税・運送に関するカスタマーセンター)
 成田南部物流センター TEL: 0479-82-0377
 成田CDC TEL: 0479-78-1051
 成田MHC TEL: 0479-77-3324



<http://www.asahimori.co.jp>

弊社パートナー会社 鹿嶋大川運輸に
開発導入していただいた車両です。